



## 新病院に向けた 外科の展望

外科部長 郡 隆之



当院外科は、地域にとって総合的な外科を目指して日々従事しております。新病院では様々な機能が更新され、より充実した医療をお受けいただけるようになります。

### 1・手術

手術室は、1室増室して5室となり、いっそう機能的でかつ快適になります。新病院に先立って、昨年からの鏡視下手術システムをハイビジョンに一新しましたので、精度の高い鏡視下手術を行っています。鏡視下手術とは、内視鏡をお腹や胸の中に入れ、モニターを見ながら行う手術のため、傷口も小さく、体への負担も少なくなります。現在外科では、ほとんどの病気を鏡視下で手術する技術確立しておりますが、残念なことに進行した状態で受診される方が多く、開腹手術がまだ多い状況です。

新病院では、健康管理科が“健診センター”として刷新しますので、ぜひ早期発見から早期治療に結びつきますよう、積極的に

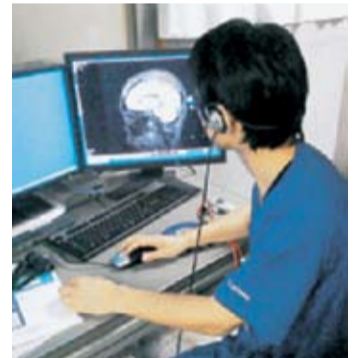
健診（検診）を受けましょう。

また新病院では、手術後は新設されたHCU（ハイケアユニット）で集中治療を受けることができます。手術後状態が落ち着いたら、一般病棟で治療していただきます。一般病棟は個室を増やしましたので、より落ち着いた環境で療養ができるようになります。

### 2・救急医療

現在、腹痛患者様は緊急手術が必要な病気が隠れていることが多いため、外科で対応しております。CT検査は内臓に異常が無いかの診断に威力を発揮するので、外科医が撮影後すぐに画像診断できる体制を整えています。病院の外からでも画像を診断できる遠隔画像診断システムを導入しており、外科医が病院に不在の時も外出先や自宅からすぐに診断することができます。

また、多発外傷は地域の総合病院として、複数科と協同して治療に当たっています。新病院では救急外来が大幅に機能向上します。ヘリポートの設置によりドクターヘリや防災ヘリが直接病院にアクセスできるようにもなりますので、より迅速な救急対応が可能になります。



遠隔画像診断

### 3・がん治療

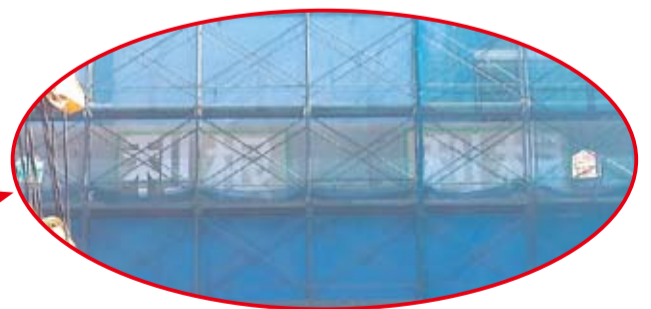
外科では手術だけでなく、抗がん剤治療、緩和医療も担当しております。抗がん剤治療・緩和医療は専門資格を有した看護師と一緒に皆様の治療をサポートいたします。また、新病院では外来化学療法室も広くなり、より快適に治療ができるようになります。がん末期の患者様も今よりも早めに個室での療養ができるようになります。

鏡視下手術



## 新病院建設進捗状況

この部分に  
病院名が  
入ります



### 新病院外観サインの 確認会が開催されました

10月15日（水）、理事長、専務、建設委員会メンバーによる外観サインの確認会が開催されました。設計事務所からコンセプトについて説明を受け、設置位置やサインの色、書体、形状など確認を行いました。



# 院内感染対策活動 について

感染管理看護師長 松井 奈美



感染管理の目的は、患者様・ご家族、院内で働くすべての職員を院内感染から守るための感染対策活動を通して、安心して安全な医療提供に貢献することです。そのために院内では、院内感染対策委員会が組織され、ICT（インフェクション・コントロール・チーム）が日常活動しています。



活動内容としては、院内の感染症患者様の把握や状況の確認、手洗いの推進や教育、定期的なラウンド（病棟巡視）、全職員を対象とした研修会、抗菌薬の正しい使用方法の推進など、他に多くの活動があります。

今年度は9月を手指衛生キャンペーンとしてポスターの作成や手指消毒用アルコール製剤の個人携帯などを実施しました。図は

職員の手を培養し、「手にどのくらい細菌が付着しているのか」「手洗いやアルコールによる手指消毒を実施するとその細菌はどうか」を調べた結果です。通常の細菌はアルコールで効果があるため細菌数が減少していることがわかります。このような取り組みで普段見えない細菌を可視化し、教育に取り入れてみました。

## 48時間培養した手に付着している細菌数の比較



左:手指衛生前の手 右:手指衛生後の手

院内感染対策では、手には細菌やウイルスが付着していることから、手洗いや手指衛生(速乾性擦式アルコール製剤)が重要です。

図 手指衛生キャンペーンで実施したバームチェック(手の細菌数の比較)

地域との連携としては、利根沼田ICT連合会や群馬県感染症対策連絡協議会に参加し、情報の共有や他の病院や施設への感染対策支援、カンファレンスの開催や研修会への参加など、多くの役割を担っています。さらに年に1回、感染対策の評価を受けるため相互チェックを実施しています。2014年度は、当院ICTが原町赤十字病院に出向いて感染対策の評価を実施し、また当院には済生会前橋病院が来院して評価を行うなど、相互連携してチェックし合うしくみをとっています。このように様々な取り組みを実施し、院内感染防止に努めています。

現在の病院では、ハード面的に、対応が困難な感染対策上の課題もありますが、新病院ではハード面が一新されますので、感染対策活動のいっそうの質の向上を目指し、安心・安全の医療提供に貢献します。

# 10月19日(日) ~2000人の来場で、 大盛況~ 現病院最後の 「きらめき祭」!



地域住民と交流が行われ、新病院上棟の祝いと新病院への期待として、一日で1,000万円以上の出資が寄せられました。

